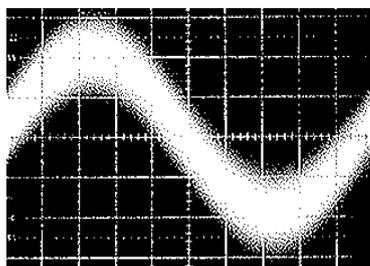


センサーからの微小信号を正しく増幅するアンプ

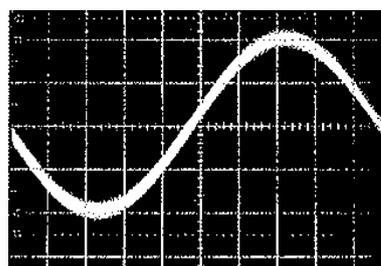
CAシリーズのご紹介

センサー等からの微小信号を増幅する場合は、「アンプが発生するノイズ」や「外部から混入するノイズ」が大きな問題になります。微小信号を適切に増幅する為にはノイズ対策として初段のプリアンプの選択が重要になります。低雑音でありながら、良好な直流特性と周波数特性を実現しなければなりません。

通常のアンプと低ノイズアンプでの波形の違い(イメージ)



通常のアンプ



低雑音アンプ

●CAシリーズの特徴

低ノイズ、良好な直流特性と周波数特性

微小な信号の測定をされている方にお勧めの製品です。

- ・入力換算雑音密度が非常に小さく理論値以下の低雑音を実現(CA-261F2:0.8nV/ $\sqrt{\text{Hz}}$)
※通常、入力抵抗 100k Ω では 40nV/ $\sqrt{\text{Hz}}$ の熱雑音が発生致します($V_n = \sqrt{4kTR\Delta f}$)
- ・良好な直流特性(CA-261F2:0.3 $\mu\text{V}/^\circ\text{C}$ (typ))
- ・外形は、厳重に静電シールドされた 20 ピンのシングルインラインパッケージを採用
(CA-251F4、CA-451F4、CA-261F2、CA-461F2 の 4 機種に採用)
- ・入力の HOT、COLD に共通の雑音は差動入力 AMP により減少できます(CA-451F4、CA-461F2)
- ・アプリケーションにより豊富な周辺機器、関連製品より選択ができます
 - CA 用評価用ボード(PA-001-1038~1040)
 - ゲインを1、2、5シーケンスで($\times 1 \sim \times 100$ 倍)制御(CA-206L2、CA-406L2)
 - 反転増幅専用アンプ(CA-102R3)

さらに低ノイズ、広帯域をお求めの方には SA シリーズもあります。